

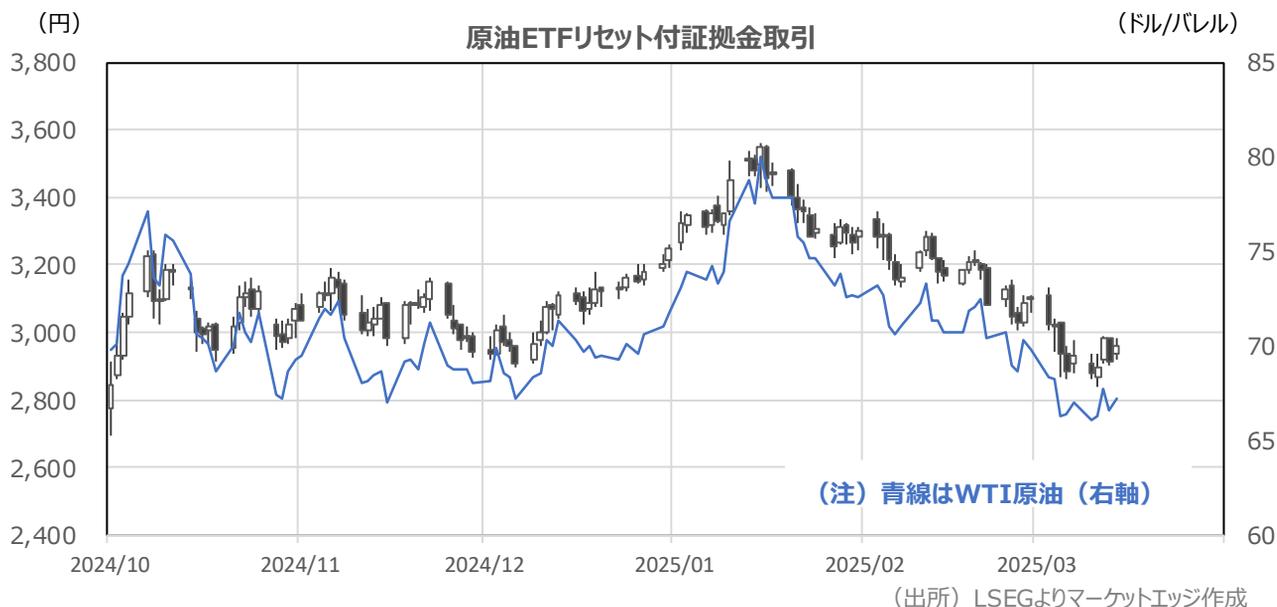
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/03/17号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



65～68ドルの安値ボックス相場に

NY原油先物相場は、1バレル=65～68ドルのレンジで売買が交錯する展開になった。需給緩和見通しが上値を圧迫する展開が続くも、65ドルの節目割れには至らず、安値圏でボックス気味の展開になった。トランプ米政権の通商政策に対する警戒感も強く、株価急落の影響もあって原油相場の上値は重かった。国際エネルギー機関（IEA）が2025年の供給過剰見通しを再確認したこともネガティブ。ただし、急ピッチな値下がりやで過熱感からショートカバー（買い戻し）を入れる動きも強く、決定打を欠く展開に留まった。米原油在庫は2週連続で増加したが、石油製品在庫が急減したこともポジティブ。

IEAは2025年の国際原油需給について、供給が需要を日量60万バレル以上上回るとの見通しを示した。需要は日量100万バレル増加するが、石油輸出国機構（OPEC）プラス以外の供給が150万バレル増加する見通しが示されている。市場見通しの不確実性の高さも指摘されているが、大規模な供給過剰見通しが再確認されたことはネガティブ。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（3月7日時点）は、原油が前週比145万バレル増、ガソリンが574万バレル減、石油精製品が156万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

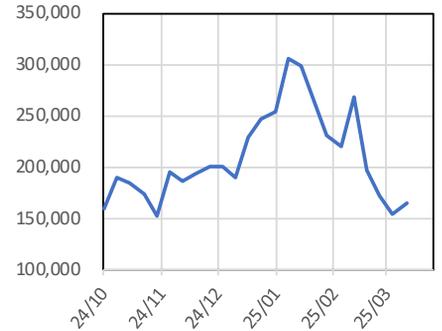
需給緩和で戻り売り優勢、過熱感から値動きは鈍化か

需給緩和見通しから戻り売り優勢の展開が続くも、値動きは鈍化する見通し。国際エネルギー機関（IEA）が供給過剰見通しを再確認したように、マクロ需給要因では上値の重い展開が支持される。米通商政策が世界経済に大きな不確実性をもたらすのに留まらず、既に経済活動の萎縮を促し始めたこともネガティブ。65ドル割れを打診する展開は続こう。一方、1月中旬の80ドル水準から一気に65ドル水準まで急落したことで過熱感も強く、持高調整のニーズが値動きを限定する見通し。前週は株価急落でも原油相場はボックス相場に留まり、持高調整をこなしながら慎重に下値切り下げを打診する展開に留まる見通し。

需給緩和見通しに変化は生じず、価格リスクは引き続き下向きになる。トランプ米政権の関税が本格展開し始める中、景気減速懸念の織り込みが強化されると上値を圧迫されやすい。4月には自動車関税、相互関税の発動も予定されており、積極的にリスクテイクを進めていくような環境にはない。また、3月17日に中国の2月分経済指標も発表されるため、ここで中国経済の減速懸念が強化された際にも、下振れリスクは高まる。

一方、米財務省は3月13日、イラン産原油を輸送する「影の船団」の一部に新たな制裁を課した。マーケットの反応は限定的だったが、イラン産原油輸出をゼロにするための取り組みが一段と強化されると、安値修正の動きが加速する可能性はある。需給緩和を背景とした値下がりを基本に、供給リスクの浮上が安値修正を促す動きの有無が問われる地合が続こう。また、3月18～19日に米連邦公開市場委員会（FOMC）が開催されるため、株価・ドル相場の反応にも注意が必要。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



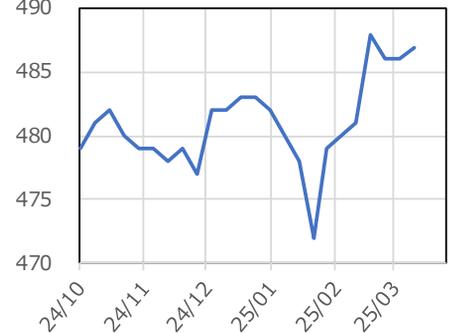
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

